

修了生インタビュー



共同専攻で過ごした 日々を礎に、研究者の道へ

中条 雅貴 さん

東京大学大学院工学系研究科
システム創成学専攻 特任助教

北陸先端科学技術大学院大学
融合科学共同専攻 博士後期課程
2023年3月修了

私がJAISTを目指したのは、林幸雄教授の研究分野「複雑ネットワーク」という学問に興味を持ったからです。早々に林教授にお会いしたところ、「自分のやりたい研究が出来るのはここだ!」と確信しました。そのすぐ後に「融合科学共同専攻」が新設されることになったのですが、こちらにも興味が湧き、結局先端科学技術専攻と共同専攻の両方を受験しました。最終的に共同専攻にしたのは、2大学のそれぞれが得意としている分野の先生方から指導が受けられるし、インターン制度もあるなど、いろいろな経験ができたと思ったからです。入学後は忙しくも念願の研究に打ち込める設備環境が整っていて、私にはうってつけでした。特にJAISTの計算機環境はすばらしく、在学中、スーパーコンピュータは大いに活用させてもらいました。また、異分野に触れることで良い刺激を受けたし、中でも金沢大学の自動運転システムの施設に2週間程行かせてもらったのは得難い経験です。金沢大の学生や留学生などとの交流も楽しく、討論会に出席したりして視野が広がりました。

私は、入学時から、将来チャンスがあれば研究者の道に進みたいと思っていましたが、いくつかの分岐点で迷ったこともありました。そんな時、背中を押してくれたのは、自主性を重んじ、やりたいことにチャレンジできる研究環境で成果を出せたからこそ。現在は「複雑ネットワークの研究」を軸にしながら、「計算社会科学」というネット上の人の動きをモデル化する学問に携わり研究者として充実した日々を送っています。ドクター時代はシミュレーションの研究でしたが、今はデータ分析の研究という感じでしょうか。将来は、数理をベースにしたシミュレーションやデータ分析手法など、理論中心の研究をするのが目標です。在学当時を振り返って思うのは、私は幅広い知識を入れるのが好きのため、生物系など自分の専門外も楽しめたり多角的な物の見方を培われたことが、今に活きているのではないかと感じます。融合科学共同専攻を目指す人は、ぜひチャレンジ精神をもって挑んでほしいですね。